



(基本)

三依杯雪合戦大会の競技場（バトルコート）は上図の形式により、1 チーム6人で構成し、2 チームの対戦形式で行う。

縦40m、横20mのバトルコート（注：設営スペースの都合により縦40mを短縮する場合がありますのでご了承下さい）の両サイドに、雪玉が当たると倒れるバトルボード（パネル5枚）を設置する。相手陣営のパネルを攻撃し、いち早く5枚のボードを倒して、コート中央に立ててある相手のチームフラッグを奪い取る（注：チームフラッグは実行委員会で用意していますが、独自のものを作ってもってきていただければ、大歓迎です）。

詳しくは、下記のとおりとする。

【附則】

- 1) 一般の部で女性（ゴールキーパーは男性可）のみでチームを編成する場合は、ゴールエリアラインを子どもの部と同様に8mラインとする。
- 2) 子どもの部は、大人は2名までエントリーできるが、ゴールキーパーとしてのみ競技に参加できる。

雪玉について

- (1) 1チームが1セットに使用できる玉数は45個とする。
- (2) 雪玉については、原則雪玉製造係が雪玉製造器を用いて作った雪玉を使用する。
（注：ただし、当日雪玉製造が間に合わない場合があるので、そのときは参加者にお手伝いをお願いすることがあります。その節は、ご協力のほど宜しくお願い致します）
 雪玉は選手集合所で各種防具（ヘルメット等）と一緒に受け取ること。

チーム編成について

下記のとおりチーム編成を行うものとする。

- (1) 1チームの最少人数は6名。
- (2) 試合中のけが等により控え選手も含め欠員が生じた場合は、欠員を補充せず試合をおこなうものとする。

	選手（うち1人監督）	控え選手	その他
一般の部	6名	数名	
子どもの部	6名	数名	大人はゴールキーパーとしてのみ参加可能

競技の方法（進め方）について

- (1) 選手は片手にバトルミット（以下「ミット」という）を持ち、ゴールエリアラインより相手陣営のバトルボード（以下「ボード」という）をめがけて雪玉を投げ、いち早く5枚のボードを倒し、バトルコート中央にある相手チームフラッグを奪い取る。
キーパーは両手にミットを持ち、ボードが倒れないように相手攻撃から守る。
- (2) **雪玉（45個）**がなくなった場合は**全員ディフェンス**にまわる。
- (3) キーパーはゴールエリアライン（キーパーライン）より前で守り、ゴールエリア外に出ることはできない。（キーパー以外は、キーパーエリア内でプレーしてはいけない）
- (4) 選手は、相手のゴールエリアラインを踏んだり、エリア内に入りプレーすることはできない。
- (5) セット途中でのメンバー変更・タイムアウトは認めない。
- (6) 競技時間は《予選・準決勝・決勝》すべて3分1セットで行う。
- (7) 《予選》はブロックリーグ戦とし、各ブロック上位の2チームが決勝に進出する。
- (8) 《決勝》はトーナメント戦とする。

勝敗の決定について

《予選リーグ》

- (1) 試合は相手チームの5枚のボードを倒し、先にフラッグを奪い取ったチームを勝者とし、試合時間内であっても試合終了とする。
- (2) 試合制限時間内に全てのボードを倒せなかった場合は、倒したボードの枚数の多いチームの勝ちとする。
- (3) 試合制限時間に達しても勝敗が決しない（同点）の場合は引き分けとする。
- (4) 勝ち3点、負け0点、引き分けを1点とし、各ブロックの上位2チームを決勝トーナメントへ進出させる。

《決勝トーナメント》

- (1) 勝敗の決定は予選リーグと同じ。ただし、試合制限時間に達しても勝敗が決しない（同点）場合は、選手6人によるPT（ペナルティースロー）合戦で勝敗を決定する。
- (2) 準決勝・決勝も3分1セットで行う。
- (3) 3位決定戦は行わない。

注意事項、反則行為について

※次の行為等を行うと反則とみなし、選手は退場となる。

- (1) 試合中に雪玉を新たに作ったり、落とした雪玉を再度使用するのは反則である。
- (2) 競技中に相手チームの選手に乱暴な行為等を行った場合は反則である。
- (3) ゴールエリアライン、サイドライン、エンドライン（キーパーライン）を踏んだ場合は反則である。
- (4) 特に悪質なルール違反と判断した場合、審判員はその選手を退場にすることができる。

用具・コスチューム等について

《服 装》手袋を着用し、服装は自由とするが防寒着が望ましい。

《装備品》主催者側で用意。

- ☆ 選手は必ずヘルメットを着用する。キーパーのみ顔面を保護するためのガード付きヘルメットを着用する。
- ☆ ミットについては、選手は（片手）、キーパーは（両手）を着用する。